

①



完成した机とイス

親子で机とイス作り

「6歳になったら机を作ろう！in滋賀」より

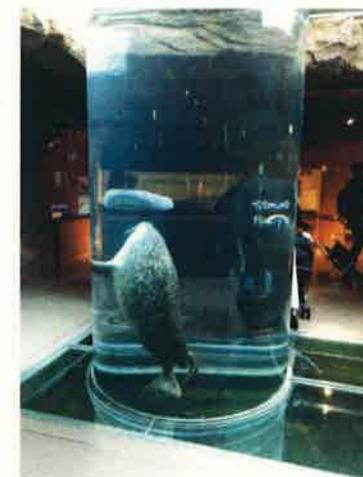


旭山動物園の取り組みに関する視察報告

令和元年（2019年）10月9日 旭山動物園（北海道旭川市）

① 視察により得た知識・参考となった事項・感想等

- ・ 園は丘陵地帯にあり、個々の展示施設はその起伏をうまく活用した設計になっている
- ・ 動物の「動き（行動）」の特徴を人間が観察でき、「生」を感じさせる理念を強く感じた
- ・ 年に3回閉園する期間がある他は、定休日はない
- ・ **中学生以下と70歳以上の市民は、入園無料（免除）**
- ・ **年間パスポートは1,020円であり、2回来れば元が取れる**
- ・ 動物との距離がとにかく近く、頭上にいる場合もある。嘱託職員が監視している
- ・ トイレが多く園内に15カ所設置されている。売店レストラン棟はNPO等が運営
- ・ **平成19年まで遊園地も併設していたが、開園40年を機に閉鎖**
- ・ **入園者数が200万人を超えていた期間は、一般会計からの繰り入れもゼロ**
- ・ 入園者の1割強が外国人。ゴミ箱などの園内表記、パンフレットなど多言語対応
- ・ 停電などの際の発電機、脱走対策等の監視カメラの設置はない
- ・ 入園者の減少とともに財政が厳しく、**旭山でさえ地元の反応は好意的でない**とのこと



② 小諸市の課題解決に向けた提案等

- ・ 動物園を残す方策としては、民間ボランティアなどの協力や寄付など外部からの支援を強く打ち出す必要があるのではないか
- ・ 旭山は「北海道の動物」に視点を当てようとしているが、小諸は「長野県の動物」に特化して、その生態を**行動展示や映像、図書などによって紹介**し、『生活にも役立つ動物園』としてはどうだろうか
- ・ 自然災害や脱走等に備え、発電機や監視カメラの設備も必要ではないか

④



赤坂信号
付近の
「通行止」
区間